



自民党

未来に責任をとれる 東京都政を!

自民党東京都連都政対策副委員長

石島ひでき



コロナに揺れる東京都をどう立て直すのか、中央区民の想いをどう都政に反映させていくのか、中央区議 7 期を務めた石島ひできさんに、じっくりお話を伺いました。

石島秀起（ひでき）プロフィール

- 1959年(昭和34年)10月24日
日本橋生まれ日本橋育ちの三代目 O型、亥年、蠍座
- 区立東華小学校、区立日本橋中学校(第1回卒業生)、都立上野高等学校を経て明治学院大学法学部卒業
- 中央区議会議員に31歳で初当選
以後7期連続当選、中央区議会議長2期(47代・53代)
- マンション管理士・賃貸不動産経営管理士・防災士
- 家族は、妻・1男2女+2愛犬
趣味は、スキューバダイビング、アクアリウム、食べ歩き

地域での
主な活動

人形町一丁目町会副会長
日本橋小学校・幼稚園PTA相談役
▶ 日本橋中学校同窓会顧問
日本橋消防団第二分団長
日本橋消防少年団長



—— 石島さんは、どんなきっかけで、政治の世界に飛び込むことになったんですか？

実はあまり話をしたことはないんですが、私の祖父は、旧日本橋区の区議会議員を皮切りに、都議6期を務めているんです。父も中央区議として働かせていただきましたが、1期4年の終わりの頃に交通事故で他界。たった一人になった私を支えてくれた、街の諸先輩方から、お前が区議会に出ろ！と大きな後押しをいただき、31歳で初当選。地域のために汗を流す「便利屋」として、お役に立ててきたかな、という自負もあります。

—— 区議会では、どんな仕事をしてきたんですか？

まさに仕事を選ばず、何でもやってきましたけれども、主に議会運営へ携わることが多い議員生活でした。自民党会派幹事長を5期、区議会議長を2期、務めさせていただきました。多士済々の議会の現場では、やっぱり大切なのは人間関係なんですよ。どう議会を円滑に回していくか、多様な意見をどうやって集約して具体的な条例案などへ反映させていくか、大切なことは、人と人の信頼だと、身に染みて感じています。

—— そもそも、中央区ってどんな街なんでしょうか？

中央区民って、みんな中央区のことが大好きなんですよ。驚くことに1997年から2020年の約20年間で、人口が7万人から17万人へ増えました。こんな基礎自治体は、日本全国で他に例がありません。この急激な人口増は、当然に様々な「ひずみ」を生みます。子どもたちが通う学校がキャパオーバーになって教室

石島ひできさんは、中央区議会自民党議員団が、最も信頼し、都政に送りたいと思う仲間です。



が足りなくなる問題や、タワーマンションの30年後を見据えた街づくりができているのだろうか、新しい街ならではの防災対策は十分だろうかなど、解決を迫られている課題もたくさんあります。それでも、私たちの明るい希望は、中央区の高齢化率が15%で、東京23区では最も低い、いちばん若い先進区であること。子どもたちを大切にする地域でありたいと思っています。

—— 石島さんは、どんな東京をつくりたいんですか？

月並みな言い方になりますが、「全ての世代がきらりと輝く東京」をつくりたいですね。それぞれの人に日が当たって、古くから中央区に住んでこの街を支える人も、新しくこの街で子育てをする若い世代も、みんな

なが中央区にどこかプライドを持って生活をしている、その延長線上に、東京全体の明るい未来も成り立ってくるんだと確信しています。

—— 東京のコロナ対応についてのお考えは？

中央区では、まず85歳以上の方を対象としてワクチン接種が始まり、その供給量に応じて接種対象者を順次拡大しています。そして、集団接種に加えて身近なかかりつけ医における個別接種も開始しました。区民の皆さんが、安心して円滑にワクチン接種ができるように、国、東京都ともしっかりと連携を図っていくことが大切です。それによって、現場の状況に応じた臨機応変な取り組みができると考えています。



衆議院議員
(東京2区/
中央区・文京区・台東区・港区)

辻 清人

石島さんは、長年区議会議員として、生まれ育った中央区のために全力投球で汗をかいてきました。石島さんの豊富な政治経験と行動力は、必ずや地元のみならず、東京都全体の公益に資すると確信しています。世界が新型コロナウイルスの危機にある中、皆様の生命と財産を守り、日常を取り戻す中心的役割を、「中央区のホープ」である石島ひできさんにお任せ頂きますよう、心からお願いいたします。



参議院議員
東京オリパラ担当大臣

丸川 珠代

コロナ禍で迎える東京オリンピック・パラリンピック大会の成功に向けて中央区は要の地域の一つとなります。日本橋で生まれ育ち、長きにわたって地域活動に汗を流してきた石島さんの経験と知識は大会成功にはなくてはなりません。この国難の状況で都議会運営も予断を許すものではありません。即戦力でご活躍できる石島さんに新たな環境で奮闘頂きたいと思ひます。



中央区長
山本たいと

石島ひできさんは、爽やかで信頼できる人柄です。長年中央区議会議員として、また区議会議長として活躍され、様々な区政課題に果敢に取り組んでこられた経験と実績があります。その強みこそ、コロナ禍を乗り越え、東京そして日本の新たな未来を切り拓く原動力になり得るものと確信しております。石島さんの力強い活動に、今後とも大いに期待しています。

